

はじまりのマイセン

18 世紀 マ イ セ ン 磁 器 の 魅 力



2020. 8/1_土 → 8/30_日

会場

岡崎市旧本多忠次邸

- 開館時間 / 9時～17時（入館は16時30分まで）
- 休館日 / 月曜日（8月10日は開館）、8月11日（火）
- 入館料 / 一般 300円・小中学生 150円

※岡崎市内在住・在学の小中学生、各種障がい者手帳をお持ちの方とその介助者（1名）は無料

Early Meissen

右／染付岩と枝に鳥図パネルポータープレート 1740年頃
左／羊飼いの女性立像 1755年頃

岡崎市旧本多忠次邸

OKAZAKI CITY FORMER RESIDENCE OF HONDA TADATSUGU

〒444-0011 岡崎市欠町字足延40番地1（東公園内） Tel.0564-23-5015

●主催／岡崎市 ●企画協力／西洋骨董陶磁ロムドシン



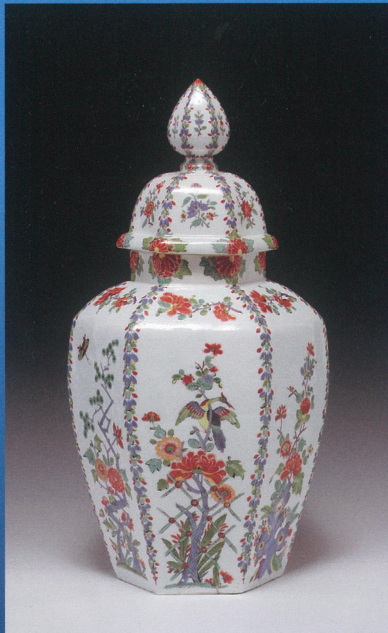
スノーボール4人用ティーサービス 1740-60年



ラスターカルトゥーシュシノワズリー人物図ティーポット 1725-27年



小天使像 21体セット 1750-63年



柿右衛門写し花鳥図六角沈香壺型蓋付飾壺
1730年頃



鳥絵・花・果実と天使付ポプリボット蓋付
1760年頃

ヨーロッパ初の硬質磁器製造に成功し、1710年に王立磁器製作所として設立されたドイツのマイセン磁器製作所の初期の作品を紹介します。

大航海時代以降、ヨーロッパにもたらされた交易品の中でもとりわけ貴重だった東洋の磁器は、当時の王侯貴族を魅了し、熱烈な収集ブームを巻き起こしました。「白い金」とうたわれ、富と権力の象徴として各国の支配者たちが買い求める中、謎に満ちた磁器製法の解明に最初に成功したのがドイツ東部のザクセン公国でした。領内のマイセンの地において王立磁器製作所の設立が高らかに宣言された時、それはヨーロッパ独自の磁器文化のはじまりを告げるものでもありました。

今なお「生きた窯」として世界の陶磁器界をリードするマイセンの魅力を、貴重な18世紀の作品を中心に御覧いただきます。

Early Meissen

連携館割引

岡崎市美術館(岡崎市高隆寺町)では、特別企画展「マイセン動物園展」[会期/7月25日(土)~9月13日(日)]を開催しています。当館「はじまりのマイセン」観覧チケット半券を岡崎市美術館の受付に、岡崎市美術館「マイセン動物園展」観覧チケット半券を当館の受付に提示することで、各施設で割引を受けることができます。

●岡崎市旧本多忠次邸観覧料/

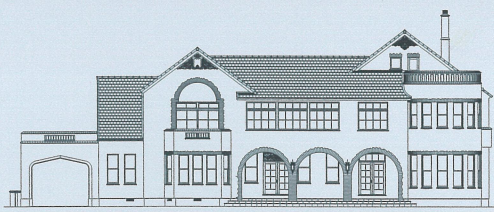
一般 60円割引・小中学生 30円割引

●岡崎市美術館観覧料/

一般 100円割引・小中学生 50円割引

※半券1枚につき1回限り、2名様まで。他の割引との併用不可

※新型コロナウイルスの影響により、展覧会の開催期間等が変更となる場合があります。最新の情報は岡崎市HPをご確認ください。



岡崎市旧本多忠次邸

OKAZAKI CITY FORMER RESIDENCE OF HONDA TADATSUGU

〒444-0011 岡崎市欠町字足延40番地1(東公園内) Tel.0564-23-5015

徳川四天王のひとり本多忠勝(1548-1610)を始祖とする旧岡崎藩主本多家の子孫、本多忠次(1896-1999)が昭和7年(1932)、東京世田谷に自邸として建てた木造2階建の洋館です。平成24年(2012)に岡崎市に移築復原され、平成26年(2014)10月には国の登録有形文化財(建造物)に登録されました。

【開館時間】 9時から17時
(入館は16時30分まで)

【休館日】 月曜日(月曜日が休日の場合は翌日以降の最初の休日でない日)、1月1日~3日、12月29日~31日、展示替期間

【交通のご案内】

◎お車の場合:東名高速道路
「岡崎インター」から約5分。

◎公共交通機関:名鉄東岡崎駅の
②番バスのりばから東公園口方面
行きに乗り、「東公園口」下車、
徒歩3分。

